



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社

コード番号 7287

URL <http://www.nippon-seiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高田 博俊

問合せ先責任者 (役職名) 事業企画本部事業管理統括部

(氏名) 渡辺 桂三

(TEL) 0258(24)3311

執行役員

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日

平成27年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	118,821	8.1	10,139	6.4	11,474	△6.2	7,195	△2.6
27年3月期第2四半期	109,947	6.3	9,531	29.5	12,231	17.7	7,389	19.8

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 5,330百万円 (△55.0%) 27年3月期第2四半期 11,834百万円 (△13.7%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年3月期第2四半期	125.	64	125.	50
27年3月期第2四半期	129.	01	128.	88

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	299,385	54.7	174,606	54.7	174,606	54.7
27年3月期	299,132	53.5	170,663	53.5	170,663	53.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 163,768百万円 27年3月期 160,025百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年3月期	—	15.00	—	18.00	33.00	—
28年3月期	—	17.00	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	32.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	240,000	5.7	18,000	9.5	19,500	△17.4	11,500	△20.5	200.	80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成27年11月6日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	60,907,599株	27年3月期	60,907,599株
28年3月期2Q	3,637,253株	27年3月期	3,637,650株
28年3月期2Q	57,270,332株	27年3月期2Q	57,276,816株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成27年12月1日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、日本国内では輸出関連企業の好調な業績や実質賃金の上昇による個人消費の増加が見られましたが、中国市場の鈍化の影響を受ける等回復ペースは鈍化しました。米国では雇用・所得環境の改善により景気回復基調は継続され、欧州も景気の底打ちが見られ回復基調になりましたが、原油・資源安の影響を受けた新興国で成長が鈍化したこと等により、世界経済全体としては、足踏み状態となっていました。

このような状況において、当社グループは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる企業体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」（コスト・技術・物流・サービス）の強化と同時に、営業・設計・経営管理など、あらゆる面でのグローバル化を目指し、変化に柔軟かつ迅速に対応できるよう「経営のグローバル化」を推進してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、118,821百万円（前年同期比8.1%増）、営業利益は、10,139百万円（前年同期比6.4%増）、経常利益は、11,474百万円（前年同期比6.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、7,195百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、二輪車用計器及び汎用計器が減少しましたが、欧米向け等の好調により四輪車用計器が増加し、売上高91,671百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益9,244百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

民生機器事業は、OA・情報機器操作パネル、アミューズメント向け基板ユニット等が増加し、売上高7,907百万円（前年同期比17.3%増）、営業損失254百万円（前年同期は274百万円の営業損失）となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が増加し、売上高11,212百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益501百万円（前年同期比309.4%増）となりました。

その他は、樹脂材料の販売等が減少し、売上高8,029百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は672百万円（前年同期比21.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ252百万円増加し、299,385百万円となりました。これは流動資産で現金及び預金が62,919百万円、投資その他の資産で投資有価証券が1,571百万円減少しましたが、投資その他の資産で長期預金が61,719百万円、流動資産で受取手形及び売掛金が4,005百万円増加したこと等によります。

負債は、前連結会計年度末に比べ3,690百万円減少し、124,778百万円となりました。これは固定負債で長期借入金が2,277百万円、流動負債で未払法人税等が1,249百万円減少したこと等によります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ3,943百万円増加し、174,606百万円となりました。これは為替換算調整勘定が1,334百万円、その他有価証券評価差額金が1,089百万円減少しましたが、利益剰余金が6,166百万円増加したこと等によります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末におけるキャッシュ・フローの状況は、現金及び現金同等物が前連結会計年度末に比べ225百万円減少し、39,203百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売掛債権の増加等がありましたが、税金等調整前四半期純利益11,520百万円の計上等により、8,183百万円の収入超過（前年同期は11,957百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が5,236百万円となったこと等により、4,801百万円の支出超過（前年同期は68,519百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出が2,551百万円となったこと等により、3,323百万円の支出超過（前年同期は1,562百万円の収入超過）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業況等を勘案し、平成27年5月15日発表の業績予想を修正しております。

詳しくは、本日（平成27年11月6日）発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	123,591	60,672
受取手形及び売掛金	40,997	45,003
有価証券	300	-
商品及び製品	14,127	14,177
仕掛品	4,936	4,911
原材料及び貯蔵品	19,373	19,077
その他	10,761	10,701
貸倒引当金	△230	△212
流動資産合計	213,859	154,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,125	15,563
機械装置及び運搬具（純額）	15,738	15,614
工具、器具及び備品（純額）	5,195	5,363
土地	16,103	16,050
リース資産（純額）	398	256
建設仮勘定	1,867	2,331
有形固定資産合計	55,429	55,180
無形固定資産		
のれん	89	36
その他	3,558	3,483
無形固定資産合計	3,647	3,519
投資その他の資産		
投資有価証券	23,095	21,523
長期預金	429	62,149
その他	2,681	2,690
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	26,196	86,352
固定資産合計	85,273	145,053
資産合計	299,132	299,385

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,655	30,022
短期借入金	58,361	58,794
未払法人税等	3,188	1,938
賞与引当金	1,913	2,724
役員賞与引当金	-	103
製品補償損失引当金	342	403
受注損失引当金	4	52
訴訟損失引当金	928	926
関係会社整理損失引当金	162	98
その他	13,225	12,871
流動負債合計	108,782	107,936
固定負債		
長期借入金	13,000	10,722
役員退職慰労引当金	206	203
退職給付に係る負債	2,766	2,843
資産除去債務	65	67
その他	3,649	3,005
固定負債合計	19,687	16,842
負債合計	128,469	124,778
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,476	6,473
利益剰余金	113,218	119,385
自己株式	△6,302	△6,305
株主資本合計	127,887	134,047
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,540	5,450
為替換算調整勘定	25,710	24,375
退職給付に係る調整累計額	△112	△105
その他の包括利益累計額合計	32,138	29,721
新株予約権	66	70
非支配株主持分	10,570	10,767
純資産合計	170,663	174,606
負債純資産合計	299,132	299,385

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	109,947	118,821
売上原価	87,097	92,809
売上総利益	22,850	26,011
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,608	2,642
従業員給料	4,724	5,533
貸倒引当金繰入額	1	0
賞与引当金繰入額	610	689
役員賞与引当金繰入額	104	105
製品補償損失引当金繰入額	9	92
退職給付費用	208	285
役員退職慰労引当金繰入額	18	20
その他	5,032	6,502
販売費及び一般管理費合計	13,319	15,871
営業利益	9,531	10,139
営業外収益		
受取利息	495	840
受取配当金	182	190
為替差益	2,050	96
その他	211	396
営業外収益合計	2,938	1,525
営業外費用		
支払利息	162	157
その他	76	32
営業外費用合計	238	190
経常利益	12,231	11,474
特別利益		
固定資産売却益	6	68
特別利益合計	6	68
特別損失		
固定資産売却損	0	4
固定資産除却損	20	18
減損損失	84	-
投資有価証券評価損	0	-
特別損失合計	106	22
税金等調整前四半期純利益	12,132	11,520
法人税、住民税及び事業税	3,939	3,421
法人税等調整額	146	209
法人税等合計	4,086	3,630
四半期純利益	8,046	7,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	656	694
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,389	7,195

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	8,046	7,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	755	△1,089
為替換算調整勘定	3,022	△1,476
退職給付に係る調整額	9	7
その他の包括利益合計	3,788	△2,559
四半期包括利益	11,834	5,330
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,454	4,778
非支配株主に係る四半期包括利益	379	552

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,132	11,520
減価償却費	3,777	4,381
減損損失	84	-
のれん償却額	75	52
株式報酬費用	10	10
賞与引当金の増減額(△は減少)	491	812
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	113	103
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	0	△2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△17	△21
製品補償損失引当金の増減額(△は減少)	△2	61
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	50	△1
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△0	47
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	42	100
受取利息及び受取配当金	△677	△1,031
支払利息	162	157
為替差損益(△は益)	△1,306	267
有形固定資産売却益	△6	△68
有形固定資産処分損	20	22
無形固定資産除却損	0	-
投資有価証券評価損益(△は益)	0	-
売上債権の増減額(△は増加)	3,065	△4,004
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,103	210
その他の資産の増減額(△は増加)	313	△1,420
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,215	△769
その他の負債の増減額(△は減少)	258	1,558
小計	15,269	11,986
利息及び配当金の受取額	671	1,026
利息の支払額	△162	△158
損害賠償金の支払額	△544	-
法人税等の支払額	△3,276	△4,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,957	8,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△62,311	551
有価証券の償還による収入	-	300
有形固定資産の取得による支出	△5,583	△5,236
有形固定資産の売却による収入	34	248
有形固定資産の除却による支出	△0	△1
無形固定資産、投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△399	△605
投資有価証券の取得による支出	△25	△26
貸付けによる支出	△252	△34
貸付金の回収による収入	11	1
その他	6	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△68,519	△4,801

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,805	700
長期借入金の返済による支出	△1,775	△2,551
リース債務の返済による支出	△102	△65
自己株式の純増減額(△は増加)	△20	△20
配当金の支払額	△971	△1,031
非支配株主への配当金の支払額	△373	△355
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,562	△3,323
現金及び現金同等物に係る換算差額	567	△283
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△54,431	△225
現金及び現金同等物の期首残高	98,813	39,429
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	83	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	44,465	39,203

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	85,106	6,743	9,914	101,764	8,182	109,947	—	109,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	30	30	6,379	6,409	△6,409	—
計	85,106	6,743	9,945	101,794	14,562	116,357	△6,409	109,947
セグメント利益又は損失(△)	8,252	△274	122	8,100	857	8,958	573	9,531

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額573百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	自動車販 売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,671	7,907	11,212	110,791	8,029	118,821	—	118,821
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	14	14	7,687	7,702	△7,702	—
計	91,671	7,907	11,227	110,806	15,717	126,523	△7,702	118,821
セグメント利益又は損失(△)	9,244	△254	501	9,491	672	10,163	△23	10,139

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・有機EL表示素子の製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。